



# 天白区は どんなまち？

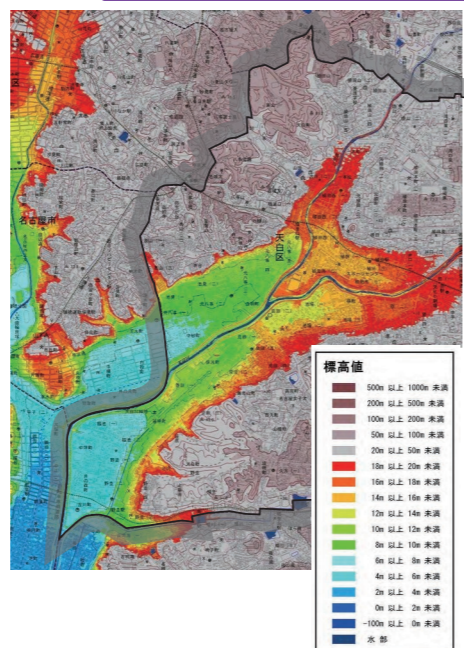


天白区  
マスコットキャラクター  
かぼっち

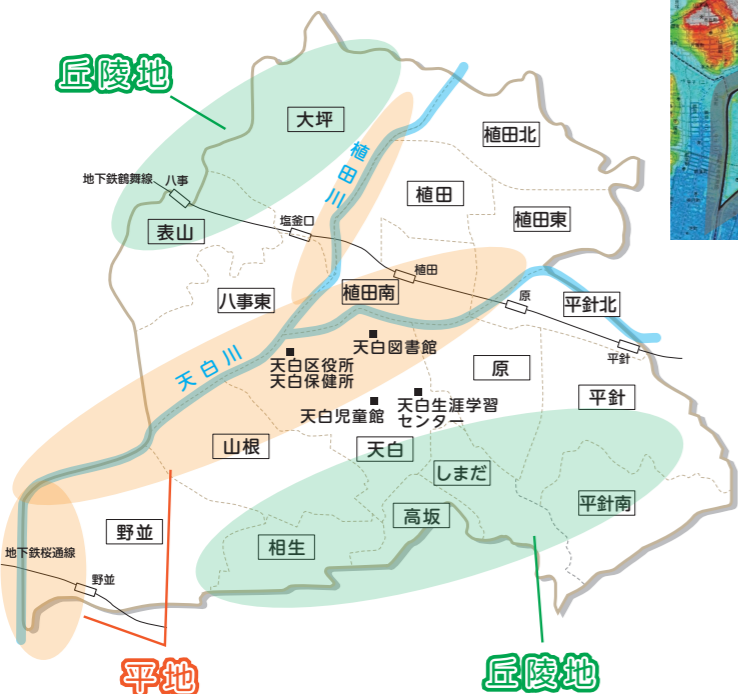
## 1 天白区の地理的特徴

天白区は中央部を天白川が流れ、北部と南部は丘陵地になっており、起伏の激しい地形が特徴です。そのため、昔から天白川・植田川沿いの地域には**水が溜まりやすく**、水害に悩まされてきました。また、丘陵地には**土砂災害警戒区域が点在**しているので、**地震時や豪雨時には注意が必要**です。

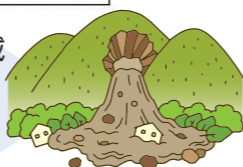
天白区のデジタル標高地形図



自分の住む地域は  
どの災害に注意すべきか、  
ハザードマップで  
確認しておきましょう！



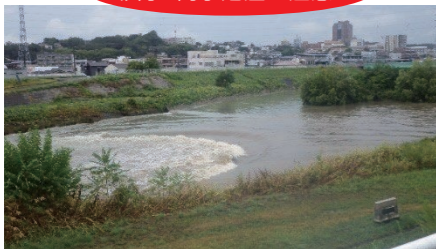
土砂災害警戒区域  
が市内最多  
(89か所)  
※令和4年2月時点



水害の  
多い地形



洪水・内水氾濫に注意！



土砂災害に注意！



南部活動拠点は、  
避難所ではないから  
注意してね！

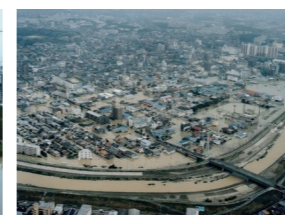


## 2 天白区 東海豪雨での被害

平成12年(2000年)9月11日～12日にかけて東海地方を襲った集中豪雨では、雨水排水ポンプの排水能力を超え、内水はん濫も発生したため、天白区内でも大きな被害がでました。この被害を受け、**愛知県による天白川河川整備や名古屋市による緊急雨水整備事業が実施されました。**



野並2丁目付近



平子橋付近



野並交差点

### 区域内での被害

- 半壊 11棟
- 一部損傷 6棟
- 床上浸水 1,000棟
- 床下浸水 352棟

最大浸水深  
約 2.5m

## 3 大規模災害時、災害対策本部機能を補完する『南部活動拠点』

天白区役所は、災害が発生すると区内の被害状況の収集や指定避難所の運営支援など、災害対応を行うための拠点となりますが、区役所は天白川と植田川の合流地点の近くにあり、また液状化の危険性もあるため、大規模災害が発生すると**災害対策の拠点として十分に機能しない可能性**があります。そこで、区の南部の高台に位置する**豊田工業大学内の一部に新たな活動拠点を整備し、災害対策本部機能を強化**しました。

地域や大学と連携した運営シミュレーションを毎年実施するなど、**災害時における救援活動の実行力向上**を図り、南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備えます。

### 天白区災害対策本部 【通称：区本部】(天白区役所)



### 南部活動拠点 (豊田工業大学内の一部に設置)



\*令和元年度に「大規模災害時等における施設使用の協力に関する協定書」締結

大規模災害発生

区役所が被災  
(浸水・液状化など)

災害対策本部  
機能の低下

南部活動拠点を開設し、  
区本部機能をカバー



災害対策本部(天白区役所)



連携・支援



南部活動拠点(豊田工業大学)



連絡・指示

天白区南部エリア